



めざす児童像

- ・自ら学ぶ子
- ・心身ともにたくましい子
- ・ともに生きる子

みなと

福井市湊小学校

学校だより No.5 (9月1日発行)

校長 山本 智広

学校再開後の諸活動について

長い夏休みも終わり学校が再開しました。今年度の夏休みは3年ぶりに行動制限がなく、各種イベント等も感染対策を講じた上で実施されました。また、旅行や帰省など人の移動も盛んに行われ、久しぶりに県外等にお出かけになられた方もいらっしゃるのではないかと存じます。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大は続いており、県内でも連日1000人を超える感染者数が報告され、先行き不透明な中での学校再開となり、不安を拭いきれません。

学校では今後、体育大会をはじめ各学年の校外学習、修学旅行等、子ども達が楽しみにしている大きな行事が続きます。コロナ禍の厳しい状況は今後も継続すると考えられますが、できる限りの感染症対策を講じながら、子ども達にとって充実した学び多い活動を実施していきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

「光陽中学校区 家庭教育スタンダード」をご存じですか？

保護者の方はご存じだと思いますが、湊小学校・東安居小学校・足羽小学校・光陽中学校の4校では、右の「光陽中学校区 家庭教育スタンダード」を基に、愛情に基づく安心感や信頼感のあふれる家庭の中で、子ども達に基本的な生活習慣や道徳性、社会性を育む取組を行っています。

この取組は、今から約10年ほど前に光陽中学校区が県内で初めて作成して実践したものです。今では、県内の多くの学校で同様の取組が為され、その効果が認められています。

この中のチェック項目には、「公共のルールやマナーを守る」「地域の活動に積極的に参加する」「地域の人に元気に挨拶をする」など、保護者だけではなく地域の方々のご協力が必要な内容も含まれています。

地域の将来を担う子ども達は「地域の宝」です。温かいまなざしで子ども達の見守りや声かけをしていただくことで、子ども達の健全な成長を支えていただきますようご協力をお願いします。

※「光陽中学校区 家庭教育スタンダード」は湊小学校のホームページでご覧いただけます。

【7月の授業から】

租税教室で税金について学びました

7月1日（金）、税理士の坂本さんにゲストティーチャーとしてきていただき、税金の種類や税金の必要性などについて学びました。一億円の重さを体験した子ども達は予想以上に重くて驚いていました。



児童の感想

私は今日、租税教室でゴミ処理費用や警察消防で何万円も税金がかかることにびっくりしました。1億円のお金を持ってみてこんなに重いんだとビックリしました。税金がある世界とない世界では全然違い、今まで税金のことはあまり気にしていなかったけどこれからは気にしながらものを買ったりしようと思いました。

情報モラル教室を実施しました

7月13日（水）、福井市教育委員会青少年課の藤井先生にきていただき、4年生から6年生を対象に情報モラル教室を開催しました。インターネットで知らない人とつながることの危険性やゲームを長時間することによる悪い影響などについて学びました。



児童の感想

- これからはゲームをする時間やルールを守ってゲーム依存症にならないように気を付けたいです。オンラインゲームをするときはちゃんとフィルタリングを設定しようと思いました。
- 私はオンラインゲームで知らない人と遊んだりするので、名前などは絶対に言わないように気を付けて遊ぼうと思いました。

ひまわり教室を実施しました

7月14日（木）、福井警察署から帰山補導員さんに来ていただき、2年生がひまわり（非行防止）教室を受講しました。子ども達が何も知らずに誤って犯罪を犯してしまわないように、毎年実施しているものです。子ども達は真剣なまなざしで、講師の先生のお話に聞き入っていました。



児童の感想

人のものをとったり、お金をはらわずにお店をでたりするのはすごくだめなんだとわかりました。これからも、人におごったりしないように気をつけたいです。